

Apron 9

エプロン

2007

SEPTEMBER

ふるさと探訪

桃豚

わが家の味

なすを味わうおかず

プレゼント

桃豚

全農

もっと近くに。

日本の新鮮、お届けします。

バイオ燃料ブームは 食肉価格にも影響



今、世界中で注目されているバイオエタノール燃料。その原料であるトウモロコシの価格が高騰しています。この値上がりで米国でのトウモロコシ畑の作付けが増え、大豆畑の作付けが減ったため、大豆価格も上昇。これに波及して、食用油、マヨネーズなどの食料品が値上げされました。

さらに、影響が大きいといわれているのが肉・たまごなどの畜産物です。トウモロコシは家畜のエサ(飼料)としての利用も多く、そのほとんどが米国からの輸入で、飼料価格も大幅な値上げを余儀なくされています。

こうしたなか、全農では、飼料原料の安定供給のため、飼料原料の確保や自給飼料

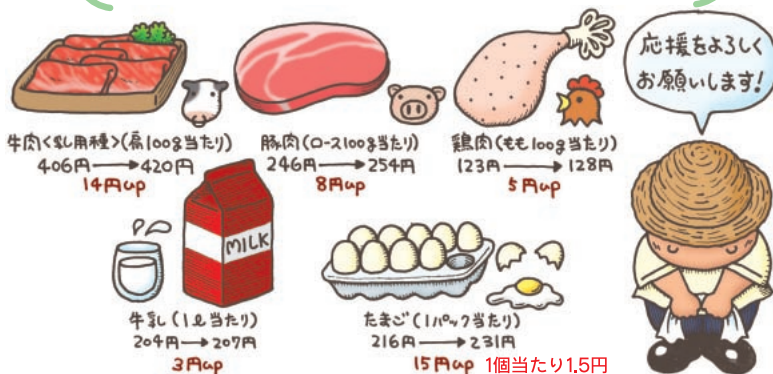
(飼料用米)などの生産・利用拡大を進める一方、生産農家には、鶏、豚、牛など畜種別に生産性向上のポイントを整理し、対策を呼びかけています。

そして、生産農家は、畜舎環境を整備し、衛生管理や家畜の飼育方法などを工夫し、安全・安心な畜産物を効率よく生産するためさまざまな努力を重ねています。

しかし、こうした努力も、長期化する飼料原料の価格高騰のもとでは限界にきています。

安全・安心そしておいしい日本の畜産物の生産をこれからも維持していくため、皆様のご理解とご支援をお願いします。

飼料価格の値上がり分がすべて肉やたまごの小売価格に 反映された場合の影響額



(平成19年6月、農林水産省試算)

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を
3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。